



中国における 2022 年 M&A 動向と今後の見通し

2022 年の中国 M&A 動向.....	2
中国 M&A 動向に関する今後の見通し.....	3
新エネルギー業界の M&A 動向と今後の見通し	4
薬品・医療機器業界の M&A 動向と今後の見通し.....	6
自動車業界の M&A 動向と今後の見通し.....	8

本資料は PwC 普華永道の『2022 年中国企业并购市场回顾与前瞻』を参考に作成しております。
上記レポートの詳細内容をご確認したい場合は、以下リンクにて原文をご参照ください。
<https://www.pwccn.com/zh/services/deals-m-and-a/publications/ma-2022-review-and-2023-outlook.html>



中国における 2022 年 M&A 動向と今後の見通し

M&A は、買い手にとっては、戦略・計画達成のための非連続的な成長手段の一つとして捉えられ、売り手にとっては、全社の事業ポートフォリオを最適化し、成長事業への選択と集中を進めるための手段の一つと考えられる。

2022 年は、コロナの感染拡大や地政学的な緊張の高まり等を受け、中国の各業界における M&A 取引にも影響をもたらした。本稿は、中国 M&A 市場とその主要産業(新エネルギー業界、薬品・医療機器業界、自動車業界)における 2022 年の振り返りと今後の見通しについてご紹介する。

2022 年の中国 M&A 動向 (1/2)

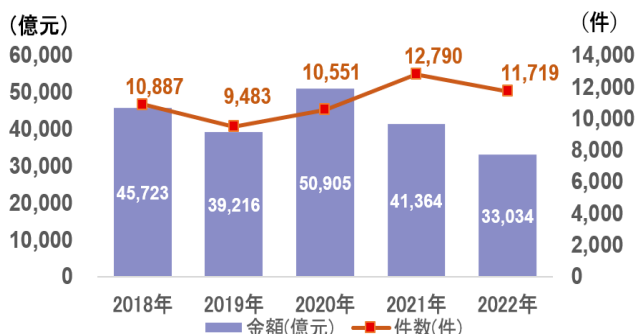
「中国市場における M&A」の定義

本 M&A 取引は、中国国内外で中国企業を相手方にする合併と買収事案であり、中国企業から海外企業への M&A 取引や、海外企業から中国企業への M&A などのクロスボーダー取引も含まれる。

2022 年の中国 M&A 動向

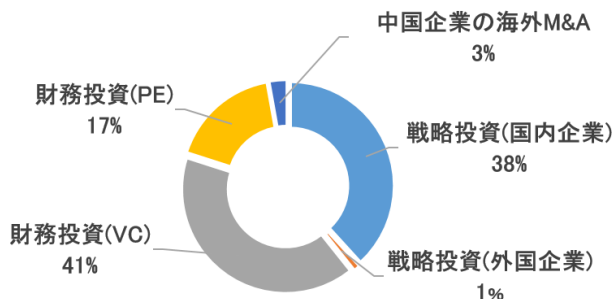
- 2022 年、地政学的紛争や新型コロナウイルスの感染拡大など、複数のリスク要因が世界の金融市場を直撃した影響で、中国株の乱高下は大きくなり、多くの企業や投資機関は投資に慎重な姿勢を取ったことで国内 M&A 市場は低迷した。
- 2022 年、中国企業の M&A 取引は約 3 兆 3,034 億円で、2014 年以來の低水準となり、前年比 20%減、取引件数は 11,719 件で、前年比 8%減となった(図表①)。
- 中国企業による海外企業への M&A 取引、海外企業による中国企業の M&A 取引はいずれも例年より大幅に減少。しかし、その一方で、国有企業の M&A 取引は、企業改革と産業アップグレードの推進に伴って顕著に回復。VC/PE ファンドの財務投資は全体の M&A 件数の半分以上を占めた(図表②)。

【図表①】2018 年～2022 年
中国 M&A 規模の推移



(出所)PwC のデータより弊社作成

【図表②】2022 年投資タイプ別
M&A 件数の割合



(出所)PwC のデータより弊社作成

2022 年中国企業の M&A 動向 (2/2)

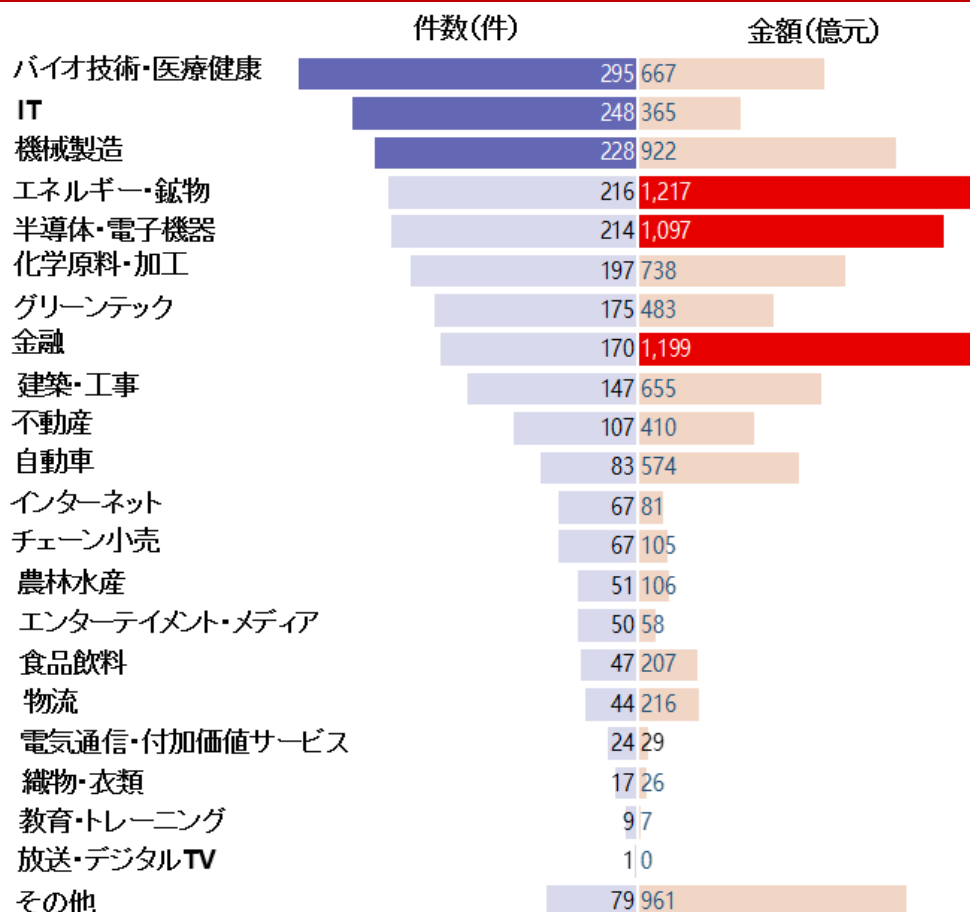
業界別の M&A 動向

- 2022 年の中国 M&A 取引は、産業のアップグレードと事業のモデル転換と関連する科学技術の分野に集中した。



- M&A 取引が活発な業界は、バイオ技術・医療健康、IT、機械製造、エネルギー・鉱物、半導体・電子機器などが挙げられる(図表③)。
- 海外企業による中国企業への M&A 取引は、主にバイオ技術・医療健康、自動車、金融、化学原料・加工などの分野に集中した。
- 中国企業による海外企業への M&A 取引は、モノと技術の獲得を志し、エネルギー・鉱物、金融、半導体・電子機器、化学原料・加工の分野に集中した。

【図表③】 2022年 M&A 取引が行われた主要業界



(出所)清科研究センター(Zero2IPO)のデータより弊社作成

中国 M&A 動向に関する今後の見通し

今後の M&A 取引の見通し

- 「ゼロコロナ」政策解除により、2023年以降は M&A 取引の需要回復を見込む。政府からの不動産企業への支援強化、投融資プラットフォーム企業への規制緩和及び、外資系企業に向けての投資奨励が活発になる見込み。また IPO 市場の回復や、各地方政府が積極的に国境を越えた投資と貿易発展計画を推進していることも、いずれも中国における M&A 取引に良い影響を与えると業界専門家は見ている。
- 但し、地政学的な紛争が続いていることが M&A 取引を抑制し、また米中関係の不確実性は大手投資ファンドの中国企業に対する見方にもネガティブな影響を及ぼす。さらに、「ゼロコロナ」政策解除後の中国経済の回復に慎重な見方を持つ投資家も一定数存在する。
- 2023年は中国での M&A 取引は依然として国内取引が主導し、大幅に回復する可能性が低い。一方、中国企業による海外 M&A 取引は大幅に増加し、アジア太平洋地域、中東地域が優先的なターゲット先となる見込み。同年通年の M&A 規模は 2022年とほぼ同じ程度で、前半は弱含み、後半は回復見通し。



新エネルギー業界の M&A 動向と今後の見通し(1/2)

「新エネルギー業界」の定義

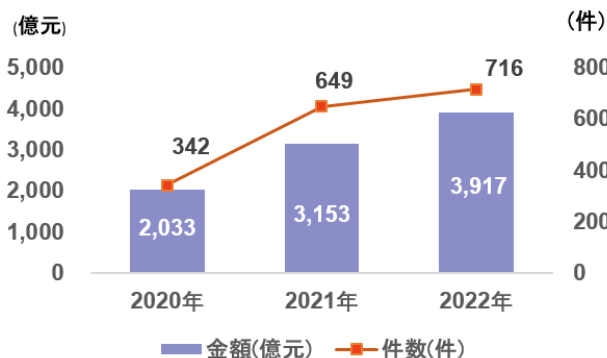
新エネルギー業界は、主にリチウムイオン電池、エネルギー貯蔵、風力・太陽光発電、インフラ施設（クリーンエネルギー発電所、NEV 電池交換ステーション、充電スタンド）及び水素エネルギーという五つの分野が含まれる。

2022 年の M&A 動向

- 2022 年、中国における M&A 取引は全体的に減少する中、新エネルギー業界は政策支持や NEV の普及等の影響を受け、M&A 金額は 3,917 億元、取引件数は 716 件と過去最高を記録した(図表④)。
- 中国国内の M&A 取引は全体の 95% を占め、中国企業による海外 M&A シェアは上昇を続け、コロナ禍前の水準に近づいた。PE/VC ファンドの投資活動は最も活発なものとなり、その M&A 件数は全体の 41% を占め、民営企業、国有企業、外資企業による M&A 取引は其々 30%、25%、3% を占めた。
- 分野別に見ると、リチウムイオン電池分野の M&A 取引が一番活発となり、取引件数は業界全体の 38% を占め、次にインフラ施設と風力・太陽光発電が其々全体の 30%、14% を占めた(図表⑤)。
- 前年と比べ、リチウムイオン電池の M&A 金額と件数は共に倍増し、風力・太陽光発電、エネルギー貯蔵及び水素エネルギー業界もそれぞれ増加が見られるも、インフラ施設の M&A 金額と数量は共に低下した(図表⑥)。

【図表④】

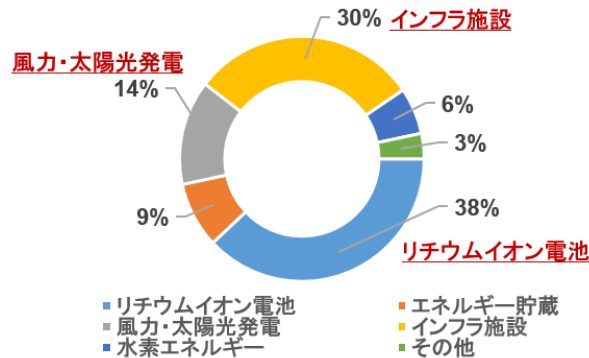
新エネルギー業界の M&A 金額と件数の推移



(出所)PwC のデータより弊社作成

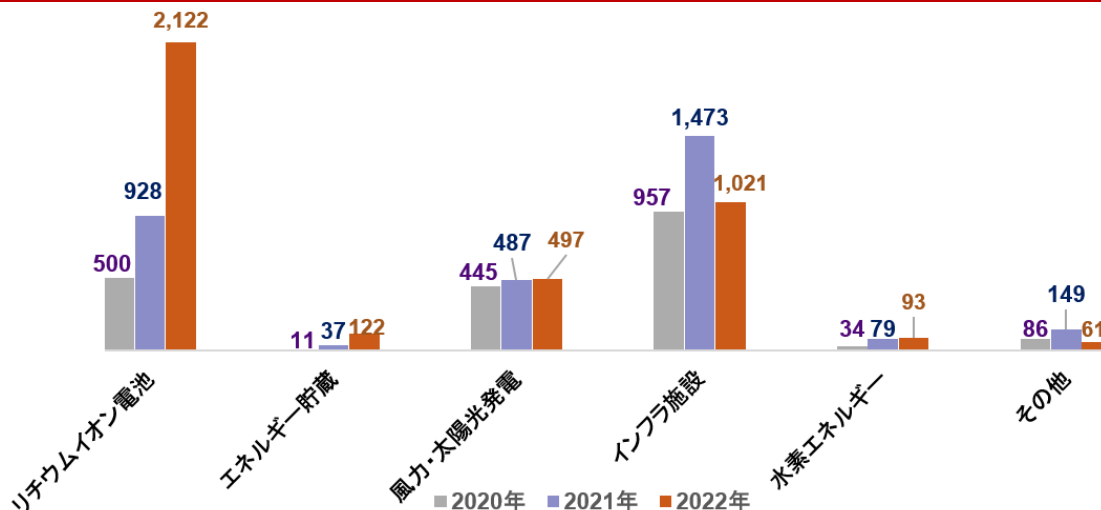
【図表⑤】

2022 年各セグメントの M&A 件数の割合



(出所)PwC のデータより弊社作成

【図表⑥】2020~2022 年新エネルギーの各分野の M&A 金額(億元)



(出所)PwC のデータより弊社作成



新エネルギー業界の M&A 動向と今後の見通し(2/2)

	a	b	c
1	分野	2022年の動向	今後の見通し
2	リチウムイオン電池	<ul style="list-style-type: none"> ■ M&A 金額は 2,122 億元で、前年比 128%増加、取引件数は 272 件で、前年比 100%増加した。 ■ NEV 市場発展に伴い、リチウムイオン電池分野の投融資活動は活発となり、電池及び電池材料のメーカーは、原材料の安定供給を確保に向けて、投資を通じて川上事業への拡大を進めていた。 ■ 全固体電池、シリコン負極材料等、電池の性能向上とコスト削減に繋がる新技術・新材料は投資家の注目を集めている。 ■ また、電池回収分野の投資規模も拡大した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 今後、当該分野は事業間競争を通じた技術力向上で、サプライチェーン全体の生産コストが低減する見込み。技術レベルはまだ向上余地があり市場全体では今後も高い成長が見込める。
3	エネルギー貯蔵	<ul style="list-style-type: none"> ■ M&A 金額は 122 億元と、前年比 229%増加し、取引件数は前年比で 51%増加した。 ■ 中国政府が『第 14 次五カ年計画～新型エネルギー貯蔵発展実施プラン』を発表し、業界への支援を強化。 ■ また、国内の大型エネルギー貯蔵プロジェクトが大幅に増えたことに加え、海外の住宅用・ポータブルエネルギー貯蔵システムの需要が急増し、中国企業による輸出は大幅に増加した。 ■ ナトリウムイオン電池、フロー電池、物理的エネルギー貯蔵技術の産業化が進む中、当該分野のアーリーステージ企業の融資規模は大幅に増加。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 産業用エネルギー貯蔵、オフグリッド型エネルギー貯蔵は今後更なる発展と投資機会を獲得していく見込み。 ■ 応用シーンの多様化に伴い、ナトリウムイオン電池、フロー電池、エネルギー貯蔵などの産業化が加速する見通し。
4	風力・太陽光発電	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市場の継続的な発展により、発電設備の新規導入容量は 125GW 近くに達し、過去最高を記録した。 ■ 但し、当該分野の M&A 取引はバリュエーションの高止まりを受け、M&A 金額こそは 497 億元と前年とほぼ同水準ではあったが、成約件数は前年比で 11.7%減少した。 ■ M&A 取引実績の内訳としては、太陽光発電が依然として圧倒的なシェアを占め、風力発電の M&A 取引規模は縮小した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「電力市場化」(電力の価格設定を市場に任せ、価格変動によって資源配分を誘導すること)の傾向が浮き彫りになっているため、新技術の活用によって生産性と品質を向上することが、競争力の強化に繋がる。 ■ 今後、クロスボーダー M&A の増加が予想され、企業間競争はより厳しいものとなる。
5	インフラ施設	<ul style="list-style-type: none"> ■ 同年より、中国政府は「再生可能エネルギー補助金」の受給企業に対する監督管理を強化。その影響で、集中型発電所関連の M&A 取引はやや減速し、業界市場は成熟期に向かっている。 ■ M&A 金額は 1,021 億元で、前年比 31%減、成約件数も 215 件と前年比 26%減となった。 ■ NEV の電池交換は投資者が注目する重点分野となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 今後、VC/PE 及び業界を跨ぐ企業・投資家はインフラ分野への進出を加速し投資者も多様化しつつある。 ■ 各地で時間別電気料金政策を導入するためインフラ投資は地域的な差異が生じる見込み。
6	水素エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水素エネルギーの M&A 取引金額は 93 億元に達し、前年比 17%増加、取引件数は 137 件と前年比 78%増加。 ■ 川上である水素製造市場での投資意欲が高まっている。業界トップ企業の競争優位が認められ、新エネルギー結合水素製造の応用シーンは将来期待できる分野。 ■ 川中の水素の貯蔵・運送・加工分野も市場で技術への注目が集まっており、産業資本は業界トップ企業へ関心を向けている。 ■ 川下の燃料電池システム分野での融資実行は堅調に推移している。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水素エネルギーの製造、化学工業、電力グリッド等への応用拡大に期待が集まる。 ■ 製品の国産化は加速する中、市場間の競争は激しくなる。 ■ 中国企業はコスト面での優位性を活かし、国際市場の開拓を加速していく見込み。



薬品・医療機器業界の M&A 動向と今後の見通し(1/3)

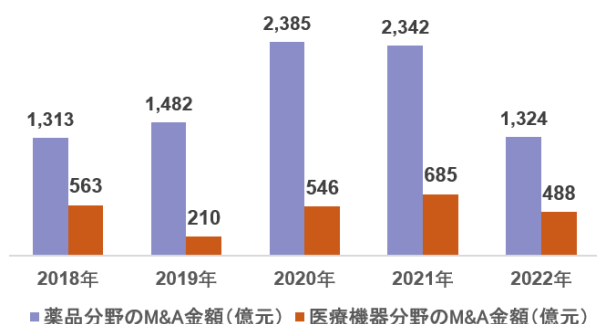
「薬品・医療機器業界」の定義

薬品はバイオ製薬と遺伝子技術、伝統的な製薬、薬品の外部委託、薬品流通の四つの分野に分けられ、医療機器は対外診断用機器、医療用映像機器、消耗品、他の機器の四つの分野に分けられる。

2022年のM&A動向

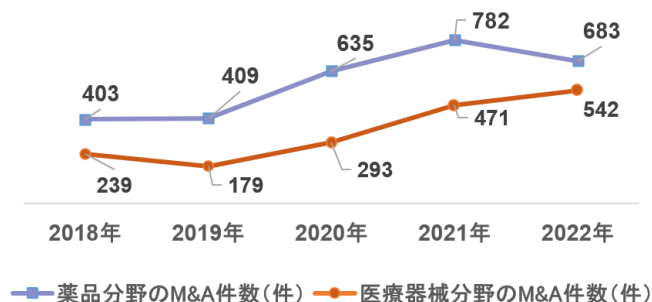
- 2022年、マクロ環境の影響を受け中国の薬品・医療機器業界のM&A取引が減速し、開示された取引件数は1,225件で、前年よりやや減少、取引金額は約1,812億元で、前年より40%減少した(図表⑦、図表⑧)。
- 薬品分野と医療器械分野は異なる傾向があり、薬品分野のM&A規模は縮小したが、医療器械分野のM&A取引件数は過去最高を記録した。
- 「バイオ製薬と遺伝子技術」はM&A取引の主要分野。そのM&A金額と件数は薬品分野の60%以上を占め、技術を差異化するイノベーション領域は引き続き投資者の注目を集めている(図表⑨)。

【図表⑦】 2018～2022年
薬品と医療機器分野のM&A金額の推移



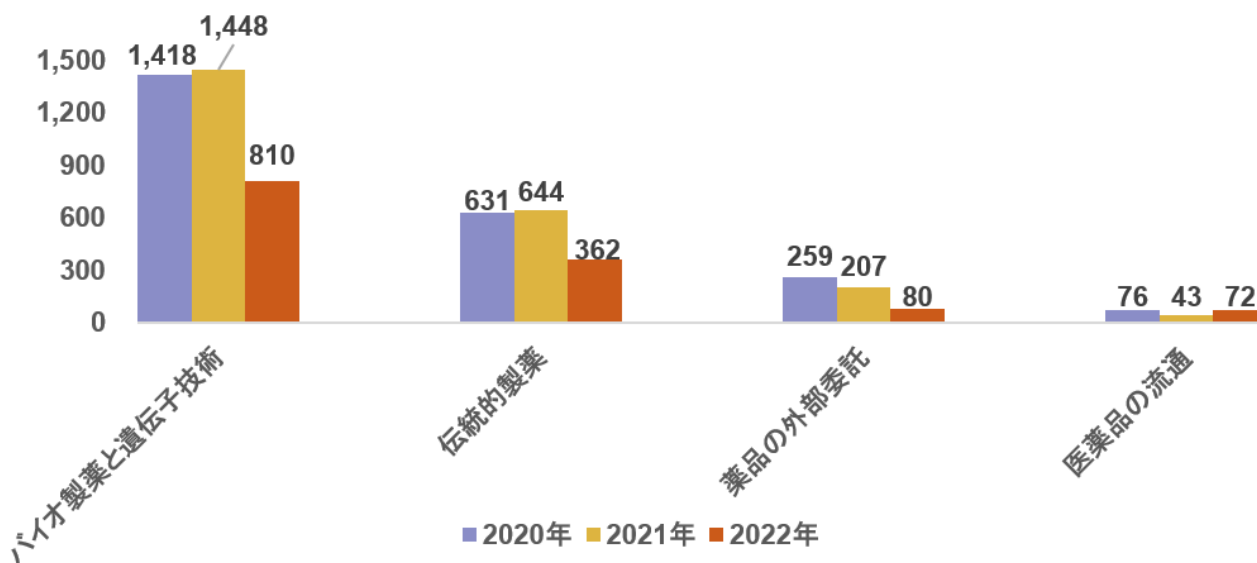
(出所)PwCのデータより弊社作成

【図表⑧】 2018～2022年
薬品と医療機器分野のM&A件数の推移



(出所)PwCのデータより弊社作成

【図表⑨】 2020～2022年薬品の各分野のM&A金額(億元)



(出所)PwCのデータより弊社作成

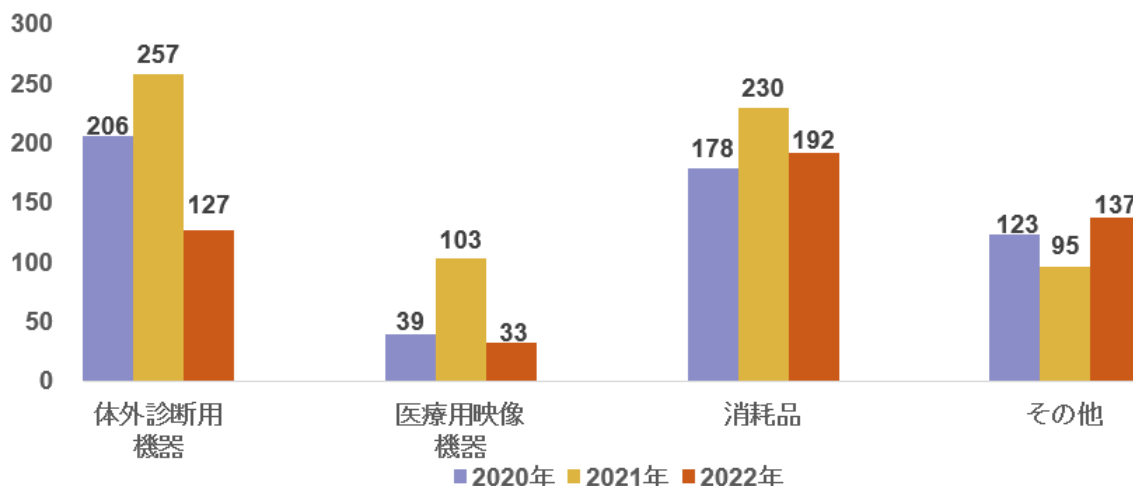


薬品・医療機器業界の M&A 動向と今後の見通し(2/3)

分野	サブ分野	2022年の動向	今後の見通し
薬品	<全体>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2020年のコロナ感染拡大以降も、薬品分野の M&A 取引は2年連続で相応の規模感を維持していたが、2022年は取引量が落ち着き、金額は前年比43%下落の1,324億元となり、取引件数も前年の782件から683件に減少した。 ■ VC/PEによる財務投資は薬品分野の投資と M&A 取引をリードし、取引件数と金額はそれぞれ全体の70%と60%を占めた。 ■ 「バイオ製薬と遺伝子技術」領域の M&A 取引は引き続き活発な状況。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 今後、薬品分野の需要増加は続き、中長期的にも M&A 市場の傾向は変わらない。 ■ 製薬企業は M&A 取引を通じて、コスト削減、生産性向上及び製品ラインの最適化を狙う。 ■ 中国の製薬企業が海外のイノベーション企業やグローバル製薬企業と協働するトレンドが今後も続く。 ■ 北京取引所の設立、科创板上場基準の緩和及び全面的な上場登録制の実行は、中小型イノベーション企業の資金調達ルートを広げる。
	バイオ製薬と遺伝子技術	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業界の先頭を走り、M&A 金額と件数はそれぞれ薬品分野の68%と61%を占め、技術の差異化に繋がるイノベーション領域は投資家の注目を集めた。 ■ 投資家は薬品製品の独自性、臨床価値及び商業化能力を重視し、投資はじわじわと抗血小板薬品、抗体薬物複合体(ADC)、細胞免疫療法、遺伝子治療などの新興領域へ集中している。 	
	伝統的製薬	<ul style="list-style-type: none"> ■ 薬品集中購買の常態化に伴い、伝統薬品企業は規模の経済を高めるために、M&A 取引を通じて事業統合を行う傾向があり、2022年の M&A 取引件数は安定し、取引金額はマクロ環境の不確実性によって減少した。 	
	薬品の外部委託	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当該分野ではトップ企業の優位性は明らかであるが、M&A 取引は主に中小企業と新型技術企業に集中。 	
	薬品の流通	<ul style="list-style-type: none"> ■ トップ企業は、業容拡大に向けて同業界で積極的な M&A 取引と事業統合を進め、2022年の M&A 金額が上昇した。 	

薬品・医療機器業界の M&A 動向と今後の見通し(3/3)

【図表⑩】 2020～2022年医療機器の各分野の M&A 金額(億元)



(出所)PwC のデータより弊社作成



a	b	c	d	
1	分野	サブ分野	2022年の動向	今後の見通し
2	医療機器	<全体>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2022年、医療機器分野のM&A金額は、大口取引の減少によって前年の685億元から488億元に減小したが、取引件数は増え続け、前年の472件から542件に増加した。 ■ VC/PEは医療機器分野の投融資をリードし、取引件数は全体の7割を超えた(*注目分野は、体外診断、眼科器械、整形外科と心臓血管介入材料、知能医療システム、手術ロボットなど)。 ■ 体外診断と消耗品の分野は、引き続き投資家から注目されている。 ■ 手術ロボット、睡眠呼吸治療設備、低温細胞貯蔵設備などの新興技術領域は投資の新たなトレンドとなった。 ■ 中国企業による海外M&A取引、及び海外企業による中国企業に対するM&A取引は回復した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業統合を通じてコスト削減と生産性向上をして、経済性を実現するトレンドが見られる。 ■ 今後、医療機器の市場需要は引き続き増加し、長期的には景気が良い傾向は変わらない。 ■ 北京取引所の設立、科创板上場基準の緩和及び全面的な上場登録制の実行は、中小型イノベーション企業の融資ルートを広げる。
3		体外診断用機器	■ 投資熱は継続し、2022年のM&A取引金額は127億元で、取引件数は126件。	
4		医療用映像機器	■ M&A規模は医療機器の分野で一番小さく、2022年の取引金額は約33億元、取引件数は74件。	
5		消耗品	<ul style="list-style-type: none"> ■ 初めて体外診断用機器を超えて、医療機器分野の中で一番ホットな分野になった。 ■ 業界のトップ企業はM&A取引を通じて事業統合する傾向が見られた。 	
6		その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ 手術ロボット、睡眠呼吸治療設備、低温細胞貯蔵設備等の新興技術分野は、新しい投資のトレンドとなった。 ■ 海外では、中国企業による神経血管介入製品、心臓革新器械、BMI(ブレイン・マシン・インターフェース)、脳波収集器械などの先進技術への投資が増えた。 	

自動車業界のM&A動向と今後の見通し(1/5)

「自動車業界」の定義

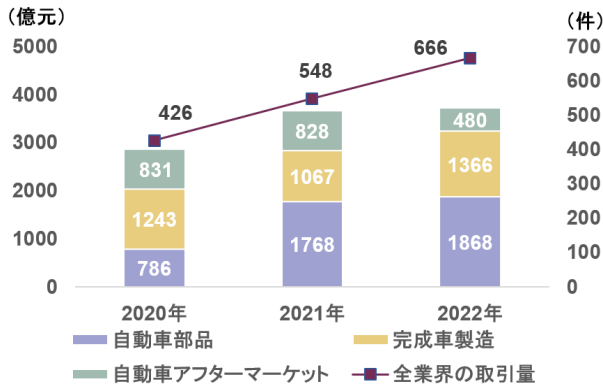
自動車業界は大きく自動車部品、完成車製造、自動車アフターマーケットの三つの分野に分けられる。

2022年のM&A動向

- 2022年、自動車業界はコロナの感染拡大、地政学的な緊張の高まり、世界経済の減速などのマイナスの影響を受けたものの、投資ブームは衰えていなかった。車の電動化、知能化、IoT化、軽量化は業界変革の中核であり、投融資を牽引。
- 2022年、自動車業界M&A取引は3,714億元で、前年より1%増加、取引件数は666件で、前年比22%増加(図表⑪)。
- 自動車部品分野のM&A取引は業界の中で最も活発であった。電池システムとNEVの市場拡大に伴い、業界の大型M&A取引(100億元を超えた)の件数は前年比大幅に増加、取引平均規模は210億元に達した。
- 国内取引が圧倒的に多く、全体件数の94%を占めたが、外国企業によるインバウンドM&Aは急増し、取引は主に完成車分野に集中した。財務投資(VC/PE)は最も活発的、投資件数は業界全体の68%を占め、また、自動車・製造業企業からの戦略的投資はそれぞれ12%と11%を占めた(図表⑫)。
- 地域性の特徴からすると、粵港澳(広東、香港、マカオ)と長江デルタ地区が最も活発なエリアで、同エリアは全国取引件数の61%を占めた。

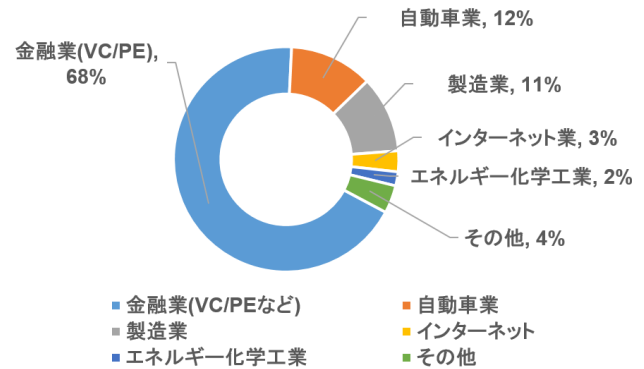


【図表⑪】 2020～2022年各分野のM&A金額と件数の推移



(出所)PwC のデータより弊社作成

【図表⑫】 2022年各業界の投資者のM&A件数の割合

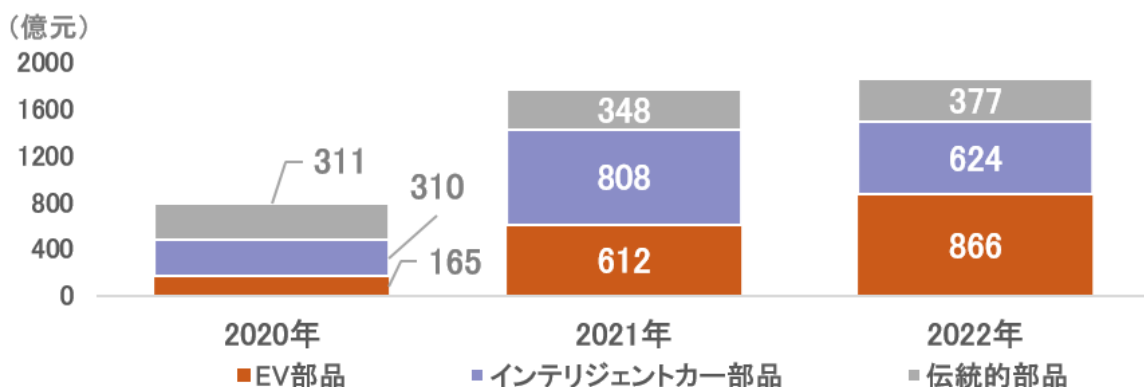


(出所)PwC のデータより弊社作成

自動車業界のM&A動向と今後の見通し(2/5)

分野	サブ分野	2022年の動向
1		
2	<全体>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2022年の自動車部品分野のM&A取引は活発的、取引件数は前年比35%増の460件、取引金額は前年比6%増の1,868億円。バッテリー分野が一番ホットな分野。
3	自動車の部品	
4	伝統的部品	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当分野のM&Aは引き続き活発的、2022年のM&A金額は前年比8%増加し、取引件数は前年比42%増加した。 ■ 但し、大口商品の価格上昇、半導体不足及びバッテリー価格の引き上げなどの影響を受け、伝統的な部品メーカーは投資を引き付ける力が弱まり、M&A取引の平均金額は前年比24%下がった。 ■ 自動車の電動化と軽量化に伴い、電子機器部品と金型分野での投融資は活発となった。
5	EV部品	<ul style="list-style-type: none"> ■ M&A金額が前年比42%増加、取引の平均金額は前年より上昇。 ■ 固体電池、ナトリウムイオン電池などの技術の発展、並びにエネルギー貯蔵技術に対する需要増加により、バッテリーシステムのM&A取引は急成長した。
6	インテリジェントカー部品	<ul style="list-style-type: none"> ■ 同分野のM&A取引件数は前年比25%上昇したが、取引金額は同23%減少。 ■ 自動運転を支えるAIチップとセンサーの市場規模が大きく、投資家の注目を集めた。 ■ 全体としては、車の知能化とつながる部品は、電動化とつながる部品より、価値創出において不確実性が高いため、投資家の投資態度は慎重になった。

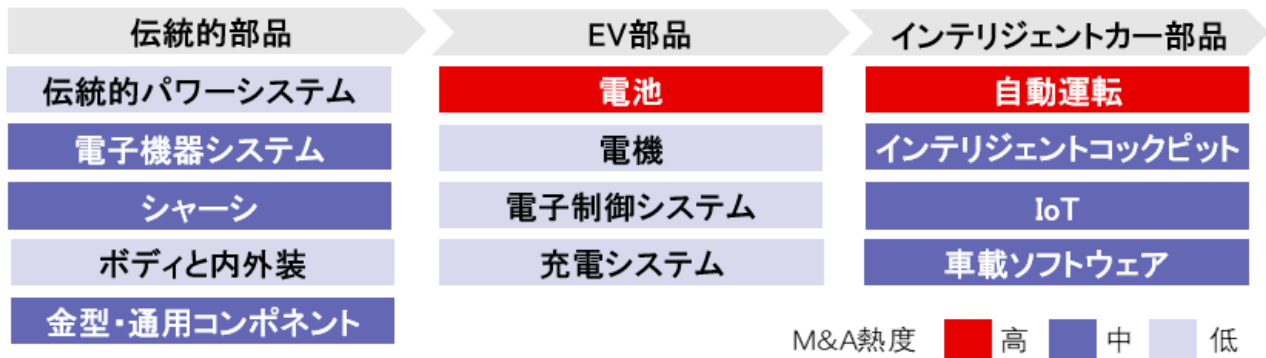
【図表⑬】 2020～2022年自動車部品の各分野のM&A金額



(出所)PwC のデータより弊社作成



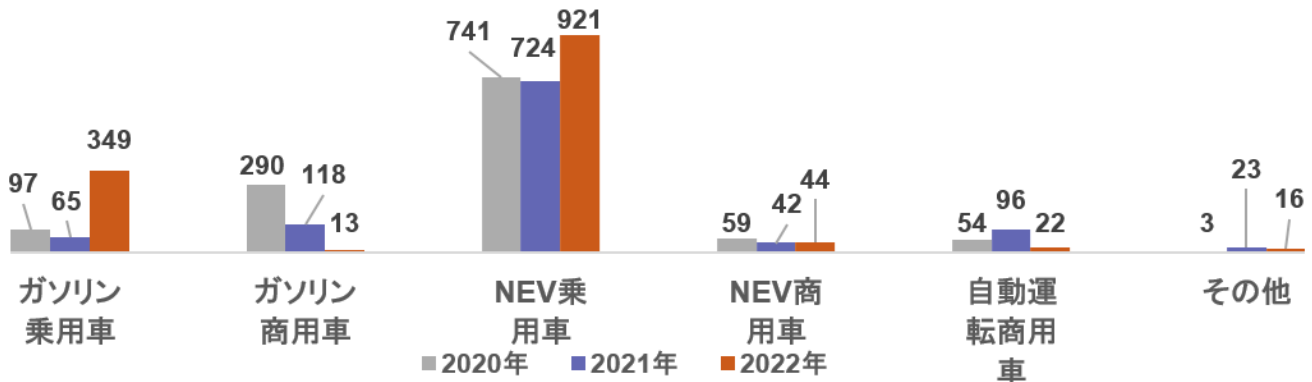
【図表⑭】 2022年自動車部品の各分野の M&A 熱度



(出所)PwC のデータより弊社作成

自動車業界の M&A 動向と今後の見通し(3/5)

【図表⑮】 2020～2022年完成車製造の各分野の M&A 金額(億円)



(出所)PwC のデータより弊社作成

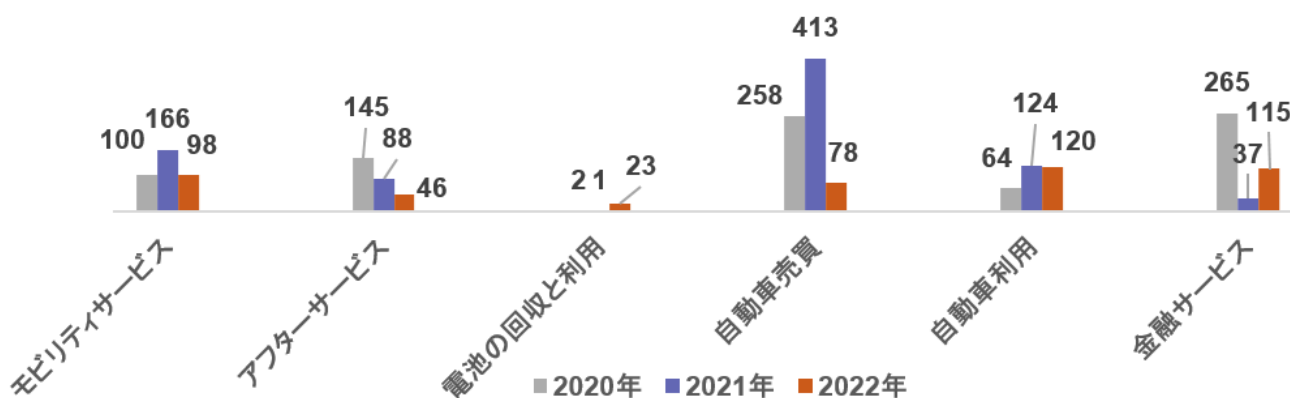
分野	サブ分野	2022年の動向
1 全体		<ul style="list-style-type: none"> ■ 2022年、完成車製造分野の M&A 金額は 1,366 億円で、前年比 22%増加(図表⑮)。 ■ NEV メーカーの IPO 加速に伴い、完成車分野の M&A 取引の平均取引金額は前年比 34%増、100 億円を超えた同取引は 5 件もあり、自動車業界の 7 割を占めた。中国企業の東南アジア市場への進出は加速している。
3 完成車製造	ガソリン車 (乗用車・商用車)	<ul style="list-style-type: none"> ■ カーボンニュートラルの実現に向け、伝統的な自動車メーカーは、新エネルギー車への転換を避けて通れず、技術・コスト・販売チャネルの課題を解決するため、NEV 分野への投資を加速している。
4	NEV (乗用車・商用車)	<ul style="list-style-type: none"> ■ NEV 乗用車の M&A 取引規模は他の分野と比べて圧倒的に大きかった。 ■ 生産能力や技術開発能力などをめぐる競争は激化しているため、企業は積極的に外部投資を受け入れており、更なる発展を追求している。 ■ 中国企業の海外進出は常態化しつつあり、東南アジアなどの海外市場の開拓が加速している。
5	自動運転車 (商用車)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中国政府のスマート交通及び新インフラ建設の発展推進政策は、自動運転産業の発展に貢献している。 ■ 「単車知能化+車路協同」というトレンドが投資家より注目されている。



自動車業界の M&A 動向と今後の見通し(4/5)

分野	サブ分野	2022年の動向
アフターマーケット	<全体>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2022年自動車アフターマーケット分野(図表⑯)の M&A 金額は 480 億円で、前年比 42%減少、取引件数は 138 件で、前年より 3 件増加。「新車販売」と「充電スタンド/バッテリー交換ステーション」は最も活発的な分野(図表⑰)。
	自動車売買	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新車販売への投資が活発し、大手ディーラーによる同業の M&A 取引は新トレンドとなっている。 ■ ブランド市場の開拓、業務合理化、新都市への進出、直販モデルへの対抗などを目的にした、M&A 取引が促進された。 ■ NEV 保有台数の持続的な増加は、自動車消費の成長に広い空間を提供。
	自動車ファイナンス	<ul style="list-style-type: none"> ■ Z 世代の消費者金融に対するイメージの変化、及び「Internet+」モデルは自動車金融サービスの活性化に繋がる。
	自動車利用	<ul style="list-style-type: none"> ■ 充電スタンド/バッテリー交換ステーションを中核とする「自動車利用」分野は M&A 取引を活発化させた。
	モビリティサービス	<ul style="list-style-type: none"> ■ M&A 金額は前年比 41%減少。
	アフターサービス	<ul style="list-style-type: none"> ■ M&A 金額は前年比 47%減少。
	電池の回収と利用	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2022年、当分野の M&A は大きな成長を遂げ、M&A 金額は 23 億円で、前年の約 40 倍に達した。NEV 市場の発展と産業推進政策の登場に伴い、電池の回収と利用は投資の新しく注目される分野となった。

【図表⑯】 2020～2022年自動車アフターマーケットの各分野の M&A 金額(億円)



(出所)PwC のデータより弊社作成



【図表⑰】 自動車アフターマーケットの各分野の M&A 熱度

自動車売買	金融サービス	自動車利用	モビリティサービス	アフターサービス	電池の回収と利用
新車販売	自動車ファイナンス	充電スタンド/バッテリー交換ステーション	公共交通	自動車アクセララー	電池の回収とアップグレード
	自動車保険	給油サービス	レンタカー	自動車の改装	電池の再利用と転売
インターネットプラットフォーム	自動車リース	駐車サービス	オンライン配車	自動車の検査	
		クラウドサービス	マイクロモビリティ	自動車の美容	
		データ応用	無人タクシー	自動車のメンテナンス	

M&A熱度 ■ 高 ■ 中 ■ 低

(出所)PwC のデータより弊社作成

自動車業界の M&A 動向と今後の見通し(5/5)

中国企業の M&A に関する今後の見通し

- 一体化ダイカスト(Die Casting)などの軽量化技術は、航続距離の延長、生産コストの低減及び生産プロセスの最適化に貢献できるため、今後大きなトレンドとなり、金型などの伝統的な自動車部品分野の投資を牽引する。
- 「3-in-1」・「X-in-1」電機駆動システムを含む高集積化した部品は、車の生産コストと価値に大きな影響を与えるため、今後もその分野の技術更新などのニーズが益々増え、投資も活発になる見通し。
- 車の知能化に向けた部品分野において、車載エンターテインメント(情報・娯楽)システムを含むスマートコックピット関連製品は、今後産業化が加速し、投資家の関心を集める。
- 無人運転商用車は人的資源の不足と人件費の高い課題を解決でき、応用シーンも多様で、市場規模も拡大する見込みで、今後も投融资が活発となる見通し。
- 中資系の自動車メーカーと電池メーカーは、サプライチェーンの BCP、海外市場への参与拡大及びコストの優位性獲得を図るために、海外進出を加速し、海外企業に対する M&A 取引を活発に行う見通し。
- 中国では自動車の知能化に向けた部品の技術アップデートは随時行われ、技術を保有する中国企業に対する海外企業による M&A 取引は益々活発となる見通し。



- ☞ 本資料は、参考のみを目的として、MUFG バンク(中国)有限公司(以下「当行」)が作成したものです。当行は、本資料に含まれる情報の適切性、完全性、又は正確性について、いかなる表明又は保証をしません。
- ☞ 本資料に記載されている情報及び意見のいずれも、預金、証券、先物、オプション、又はその他の金融商品又は投資商品の購入又は売却の申出、勧誘、アドバイス若しくは推奨をするものではなく、またそのように解釈されるものでもありません。
- ☞ 本資料に含まれる意見(あらゆる声明及び予測を含む)は、通知なしに変更される可能性があり、その正確性を保証致しかねます。本資料は、不完全又は要約されている場合もあり、本資料に掲げる当事者に関する重要な情報を全て網羅していない可能性もあります。当行(含む本店、支店)及び関連会社のいずれも、本資料を更新する義務を負いません。
- ☞ 本資料に含まれる情報は、MUFG バンク(中国)有限公司(以下「当行」)が信頼できると判断した情報源から入手したのになりますが、当行は、その適切性、適時性、適合性、完全性又は正確性について、いかなる表明又は保証をせず、一切の責任又は義務を負いません。したがって、本資料に記載されている評価、意見、見積り、予測、格付け若しくはリスク評価は、当行による表明及び/又は保証に依拠されるものではありません。当行(含む本店、支店)及び関連会社並びに情報提供者は、本資料の全部又は一部の使用に起因するいかなる直接的又は間接的な損失又は損害について、いかなる責任を負いません。
- ☞ 過去の実績は、将来の業績を保証するものではありません。本資料に含まれるいかなる商品の業績の予測について、必ずしもその将来実現する又は実現できる業績を示すものではありません。
- ☞ 当行は、本資料の著作権を保有し、当行の書面同意なしに本資料の一部又は全部を複製又は再公布することが禁止されます。当行(含む本店、支店)又は関連会社は、当該複製又は再公布によって生じる、いかなる第三者に対する責任を一切負いません。
- ☞ 受領者には、必要に応じて、専門的、法律、金融、税務、投資、又はその他の独立したアドバイスを別途取得する必要があります。

MUFG バンク(中国)有限公司 リサーチ&アドバイザリー部 中国ビジネスソリューション室

(商 号) MUFG バンク(中国)有限公司

(住 所) 上海市浦東新区海陽西路 399 号前灘時代広場 17-20 階

(登録番号) 中国銀行保険監督管理委員会上海監管局 B0288H231000001